

第12回神戸市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和6年1月30日（火）14時00分～15時00分

場 所：三宮国際ビル7階701会議室

協議事項①：北区北五葉地域における地域コミュニティ交通の運行廃止について
→協議が調った

委 員：出席者10名、欠席者1名

学識経験者	土井 勉、猪井 博登
市民代表	辻村 勇（欠席）
交通事業者	田村 幸久、北野 航
各種団体	新屋敷 昭一、下谷 富雄、原 勇三
関係行政機関	田中 康嗣、作田 良文、白井 真太郎

主な発言内容：

（田 村）：最近の北五葉おでかけ号は、全く乗車が無い日もあるという状況。コミュニティタクシーは乗り合
うのが理想だが、乗合率は低く、大体は1人の乗車。

（土 井）：おでかけ号は、交通事業者と地域が共に創る良いモデルと思っていた。コロナの影響等厳しい
状況もあり、一旦廃止する決断も大事と考える。北五葉で移動に困っている方もいると思うの
で、様々な工夫や神戸市によるサポートもお願いしたい。

協議事項②：名塩・生野高原ふれあいバス運賃協議会の設置について
→協議が調った

委 員：出席者12名、欠席者1名

学識経験者	土井 勉、猪井 博登
市民代表	向 俊輔
交通事業者	荒井 俊人、北野 航
各種団体	新屋敷 昭一、下谷 富雄、堀内 隆彦
関係行政機関	田中 康嗣、作田 良文、西上 浩司（欠席）、上畑 宏喜、白井 真太郎

主な発言内容：

（土 井）：法改正を受けて部会を設けるということである。地域公共交通会議で運賃が話題になってもよいが、
決めるのはこの部会という構造になる。

協議事項③：北区生野高原地域における地域コミュニティ交通の本格運行の実施について
→協議が調った

委 員：出席者12名、欠席者1名

学識経験者	土井 勉、猪井 博登
市民代表	向 俊輔
交通事業者	荒井 俊人、北野 航
各種団体	新屋敷 昭一、下谷 富雄、堀内 隆彦
関係行政機関	田中 康嗣、作田 良文、西上 浩司（欠席）、上畑 宏喜、白井 真太郎

主な発言内容：

- (猪 井)：駐停車禁止の関係で確認だが、バス停 C8(E13)と C10(E15)の位置は、交差点から少し離れているということでは。また、バス停標柱は無いのか。
- (事務局)：バス停の位置は、交差点から少し離れている。クリーンステーションにバス停を示すものを貼る。
- (土 井)：本格運行化しても標柱は立てないのか。
- (事務局)：標柱は立てない予定。
- (猪 井)：少し分かりにくいと思うが、あまりコストをかけても、とも思う。
- (作 田)：神戸市と西宮市の 2 市にまたがる運行となるが、支援の考え方はどうなるのか。また、E ルートの収支率が無い理由は。
- (事務局)：神戸市では、本格運行を継続する条件として「3 年連続収支率が 50%を下回らないこと」があり、また、年間 350 万円（タクシー 1 台の場合）が補助上限となる。西宮市では、運行経費の 60%が補助上限となる。運行経費や運行収入は両市で距離按分している。E ルートは本格運行時から設定されるルートなので、収支率が無い。
- (作 田)：E ルートは試験運行による収支率が出ていないが、本格運行を実施するという事か。
- (事務局)：本格運行の E ルートは、試験運行の C ルートに平成台を立ち寄るルートが加わる形なので、利用者は増える方向と考える。
- (下 谷)：運賃協議会を西宮市・神戸市それぞれで設置するという事だが、一方で協議が調っても、もう一方で協議が調わないこともあり得る。合同協議会を作るべきでは。
- (事務局)：関係者への意見聴取など、実際は西宮市と共同で動いている。合同協議会というのも 1 つの形だと考える。今回はそれぞれで協議会を開催するが、今後他都市のやり方も研究して、よりよい形にしていきたい。
- (向)：西宮市と神戸市が一緒に取り組むのは全国的にもあまりないこと。試験運行では地域でイベントを企画して利用促進に取り組んだ。目的を作って利用していただくのが本来のコミュニティバスだと考える。「ふれあいバス」の名前の通り、今までふれあわなかった住民同士が乗務員さんと話をしながら楽しく乗れたのが収支率向上の要因だと思う。また生野高原には、西宮市の小中学校に通う子供たちがいる。この子供たちの通学の足を確保するのはコミュニティバスしかないということで、早朝便を作った。この早朝便に加えて高齢者が利用する昼間の便、また夕方に JR 西宮名塩駅から生野高原に向かう E ルートで、一般の働いている方も利用できるダイヤになったと思う。

以上